

事務事業評価シート(平成25年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名	
32211	移住定住促進事業	まちづくり政策課	まちづくり係	山田 勝己	一ノ瀬 敏樹	
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先(内線)	2209	
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分			予算コード	事業名(歳出予算見積書)
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0207		企画事務	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別			#N/A		
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり	
		節	(コード選択)	2節	快適なまちづくり	
項[基本施策]		(コード選択)	2項	農山村集落環境の整備と誘導		
目[主な施策]		(コード選択)	1目	安定人口増加の推進		
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他					
事務期間	(開始) 17 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/>	開始時期不明		<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

現在、辰野町を離れて都市部に在住している人
都市部に暮らしていて長野県における田舎暮らしを考えている人

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

町の移住定住人口の増加、空き家問題の解決、都市部と地域間の交流活動の活性化

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	田舎暮らし「楽園信州」推進協議会の開催するセミナー・相談会に参加し、積極的な情報発信を行う
2	長野県宅建協会の伊北不動産組合と連携し、移住希望者の不動産・空き家等のニーズに対応する
3	町ホームページ等で事業をPRする
4	

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	田舎暮らし「楽園信州」に参加し、PR活動を行う		0	1	2	0.50	2
	説明	上記主催のセミナーに参加し、PR活動を行う。(関東・中京圏)		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 楽園信州が首都圏および中京圏で実施しているセミナーへ参加する				
②	指標名	移住希望者からの相談		3	20	24	0.83	24
	説明	相談および面談において対応した件数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 都市部において長野県への移住希望者が増加している				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)	
①	指標名	移住者受入数		0	7	24	0.29	24
	説明	相談および面談において対応した件数		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 都市部において長野県への移住希望者が増加している				
②	指標名	U・Iターン受入れ世帯数		0	2	5	0.40	5
	説明	実際に移住等に結びついた世帯		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 近隣市町村への移住実績等を参考				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成23年度決算	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度見込み		
対前年比	%	/	113.3	196.4	187.9		
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		0	0	0	0		
B)一般財源(税金)		1,500	1,699	3,337	6,269		
①事業費	(千円)	0	0	257	416		
対前年比	%	/	#DIV/0!	#DIV/0!	161.9		
②人件費の概算	(千円)	1,500	1,699	3,080	5,853		
対前年比	%	/	113.3	181.3	190		
		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費		
町職員(正規職員)		0.00 0.04 0.04 0.00 0.08 0.20 0.00 0.00 0.00	0.29 0.33 0.61 0.29 0.45 0.86	1,500	1,699	3,080	5,853
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)					
		0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 移住希望者からの問い合わせ等
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	B	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください ・移住定住希望者からの問い合わせが増加した。 ・移住者2世帯(7名)の受け入れ実績があった。
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください ・「辰野町移住定住促進協議会」が設立され、参加団体(個人)との連携が可能となった。 ・田舎暮らし楽園信州連絡協議会との連携
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください ・移住者受入事業の実施にあたり(リフォーム補助など)、移住者および受入側との負担割合を検討する。
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	A	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください ・「辰野町移住定住促進協議会」が設立し、協働する環境が整いつつある。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
・26年度から所管を産業振興課の「移住・定住推進室」に移す。 ・「辰野町移住定住促進協議会」により、移住定住事業を具体化させる。	〔反映内容〕 ・辰野町移住定住促進協議会補助金 ・委託料(パンフレット作成)

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

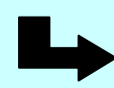
B	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください
	辰野町移住定住促進協議会の設立、移住定住希望者への対応、移住受け入れ(2世帯)

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
辰野町移住定住促進協議会の発足により民間と行政の連携による取り組みが始まった。行政主導ではなく協議会の発想を大切に施策の取り組みを今後図っていく。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



a 上記 a~e を選択